

留 学 報 告 書

記入日:2019年8月30日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本
留学先国	イタリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ヴェネチア大学 現地言語: Universita Ca'Foscari
留学期間	2018年8月～2019年6月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2,3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年6月25日
明治大学卒業予定年	2021年4月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9月上旬～12月下旬 2 学期:2月上旬～5月下旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	19000人
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	円	備考
授業料		円	学部間協定留学だったので明治の学費以外、留学先での授業料は発生しませんでした。
宿舍費	3160 ユーロ	369720 円	
食費	4500 ユーロ	526500 円	
図書費	50 ユーロ	5850 円	
学用品費	10 ユーロ	1170 円	
教養娯楽費	3419 ユーロ	400000 円	
被服費	427 ユーロ	50000 円	
医療費		円	病院にかかったことはなかったです。
保険費	855 ユーロ	100000 円	形態:明治大学指定の海外旅行保険
渡航旅費	1533 ユーロ	179310 円	
雑費	500 ユーロ	58500 円	電気・ガス・水道代
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	14454	1691118 円	

渡航関連

渡航経路: 日本(成田)→イスタンブール→ヴェネチア

渡航費用

チケットの種類 _____

往路 _____

復路 _____

合計 179310 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

Expedia,skyscanner などのウェブサイトを通して航空券を手配しました。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

アパート

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 2 人)

3)住居を探した方法:

一年前に留学していた先輩の知り合いの方が住んでいたアパートに引き継ぐ形で住むことが決まりました。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私はルームシェアしていたルームメイトの女の子を含め、8 人のイタリア人と一緒に暮らしていました。寮ではなくアパートでしたが住んでいる人数が多く毎日とても賑やかで楽しかったです。全員イタリア人で言語の壁がなかったと言えますが、日本語学部で日本を学んでいるフラットメイトが居たので分からない時は英語と日本語を使いながら通訳してくれましたし、イタリア語をもっと頑張ろうという意欲にも繋がったのでとても良い環境で生活出来ていたと改めて感じます。

留学先での滞在先を探す時は、必ず住んでいるフラットメイトと行く前から連絡を取っておくことが良いのではないかと思います。そうすることで、住む前からお互いのことを知ることができるので住み始めてから実際に会うのは初めてでも緊張することなく生活を始めることができるからです。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

私は特に相談するような問題がありませんでしたが、留学生専用のオフィスがあるので大学のウェブ上で予約の手続きを行えばそういった個人的な問題への相談などの対応を取ってくれると思います。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

ヴェネチアは観光地ということもありスリに遭う確率が低くはないとガイドブックなどで事前に把握はしていましたが、実際現地での対策としてはカバンを目に見えるところに持つことや、学校に行く際にリュックを使う時は貴重品を見えない場所にしまうなど外出着は常に注意を払っていました。このような対策はヴェネチアはもちろん、休みの時期のヨーロッパ旅行の際にも気をつけながら行っていたので盗難等の犯罪に巻き込まれることはありませんでした。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

アパートでのインターネットの接続は悪い時も多々あったので、そういった時は大学の図書館へ行っていました。また、留学先で現地の携帯会社の sim ガードを利用していたのですが、最初に利用していた Vodafone よりも Tim という携帯会社の方が月々の料金が安く、大きな GB が使えました。なので、Tim に移行してから通信制限が来て WiFi 環境が無い場所でインターネットが使えないということがなくなりました。

<p>5) 現地での資金調達はどうに行いましたか？(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)</p> <p>日本で新しく Manepa card というプリペイドカードを作りました。それは日本円で日本から振込むことが出来、さらにウェブ上のアカウントからユーロやドルなどの通貨に両替することが出来るカードです。なので家族に日本から振り込んでもらい、そのお金をパソコンから自分のアカウントにログインしユーロに両替してから現地の銀行の ATM で下ろしていました。また、それと併用しクレジットカードも一緒に持って行ってました。</p>
<p>6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。</p> <p>挙げればきりが無いとは思いますが、まず医薬品(風邪ぐすり、胃薬、頭痛薬)などはまとめて持って行くと安心だと思います。また食の面で言うと、特にヴェネチアのスーパーで日本の食材を手に入れることはほとんど出来ません。あったとしても、醤油やカップヌードル、そばなどでこれらもとても高いです。なので、レトルト食品などを日本からまとめて送って貰うのがいいと思います。</p> <p>また、冬も寒いので日本から防寒グッズ(ヒートテック)など準備していくといいと思います。</p> <p>私は個人的に行ってから料理するのに菜箸がなく料理しにくかったので日本から送って貰いました。因みに、食べるときに使う箸なども送って貰いました。</p> <p>基本的に日常的に使うもので日本で揃えられるものは留学先で必ずしも手に入るとは限らないので揃えて行った方がいいと思います。</p>
<p>7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)</p> <p>授業料負担型ではなかったです。</p>
<h2>卒業後の進路について</h2>
<p>1) 進路</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:</p>
<p>2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など</p> <p>大学を卒業して進学することは元々視野に入れていた訳では無いので特に何かを参考にして進路決定はしていません。</p>
<p>3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)</p> <p>※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。</p> <p>まだ考えている過程なのではっきりと決まっている訳ではないのですが、航空会社、旅行会社を中心に資料集めを行っています。</p>
<p>4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)</p> <p>※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。</p> <p>私は6月25日に帰国しましたが、多くの企業のサマーインターシップは募集の締め切り期限が6月の下旬、7月の中旬でその前にも面接を受けに行ったりする必要があります。なので、私は10月頃に行われる秋のインターシップを中心に応募し、就活活動を始めて行こうと考えています。しかし、サマーインターシップと言っても様々な種類があり数日から1週間程の長いインターシッププログラムは締め切りが早いですが、ワンデーインターシップの様に1日で企業の説明会にグループワークが組み込まれた様な形のプログラムを主催する会社もあります。この様なプログラムは応募期間が比較的もう少し遅い時期なので留学から帰ってきてからでも間に合います。また、留学経験者だけを対象としたキャリアフォーラムの開催もあり、この様なキャリアフォーラムも行われる時期が少し遅いので留学から帰ってきた時点で申し込みを行い参加することが可能だと思います。</p> <p>正直、留学を経て将来のキャリアが明確に定まったわけではないのですが、留学に行く前と比べると自分が興味のある分野の発見や就職する上ではずせない条件が見つかったように思います。なので、自分の興味を掘り下げそれがどのような職種に当てはまるのか、また私が外せないと感じる職場の条件はどのような方針、また組織風土が礎になる会社なのかを考え、これからの就職活動に臨みたいと考えています。</p>
<p>5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。</p>
<p>6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。</p>
<p>7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。</p>

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
28 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
History of Venice		ヴェネチアの歴史
科目設置学部・研究科	School for International Education	
履修期間	9 月～12 月	
単位数	6 ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Isabella Cecchini	
授業内容	ヴェネチアの歴史を多角的に学ぶクラスでした。まずは、ヴェネチアの地形、どのように水に囲まれる潟になったのかを歴史を遡り学びました。そこから、どのようにしてヨーロッパの貿易の中心地としてまで発展を遂げたか、また政府はどのような人々により統治されていたかなど毎週、テーマを変えながらヴェネチアの様々な歴史について学びました。	
試験・課題など	普段、課題は出されませんでした。が期末試験は 4000 字以内で習ったことに関連するテーマでエッセイを書くことでした。	
感想を自由記入	ヴェネチアに住むからには少しでもヴェネチアの歴史を学ぶことが重要だと考え、このクラスを受講しました。その結果、このクラスで得た歴史的な一面も感じながら残りの留学期生活をより充実したものに出来たと思います。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
History of Design of Glass in Venice		ヴェネチアングラス・そのデザインの歴史
科目設置学部・研究科	School of International Education	
履修期間	9 月～12 月	
単位数	6 ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Rosa Barovier	
授業内容	ヴェネチアングラスのデザインが歴史の変遷と共にどのように変化したかをスライド写真で見ながら学んだり、実際の作り方の技術をビデオを通し学んだりしました。	
試験・課題など	課題は特にありませんでしたが、期末試験は自分で選んだ3つのヴェネチアングラスの作品をデザイン、また技術的な側面に触れながらエッセイを 2500 字以内にまとめるというものでした。	
感想を自由記入	ヴェネチアにはムラーノ島というヴェネチアングラスで有名な島がありますが、その島に行った時に、色々なデザインのヴェネチアングラスを見ましたが、授業から得た知識があったので見るのがより楽しかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
History of North-American Culture		北アメリカ文化の歴史	
科目設置学部・研究科	Language Literature		
履修期間	9月～12月		
単位数	6 ECTS		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	Siome Francescato		
授業内容	エヴァンジェリカルイズム、または福音主義がアメリカ社会にどのような影響を与えているかということを政治的な観点、またいくつかの書籍の抜粋を通して学びました。		
試験・課題など	グループプレゼンテーションが1回受講期間の最後の方にあり、また期末試験として筆記テストと口述試験がありました。		
感想を自由記入	私はこの授業で初めて福音主義について詳しく学ぶ機会があり多くのことを学びました。特に印象的だったのは政治的な面でどれほど福音主義が強い影響力を持っているかということです。アメリカではキリスト教を信仰する人が多く、その中でも福音主義は強い支持を受けているため、大統領選挙に出馬する候補者が投票キャンペーン期間に福音主義に基づくスローガンを掲げ支持者を増やすこともよくあるようにアメリカでは福音主義が社会に大きな影響を及ぼしています。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Applied Anthropology		応用人類学	
科目設置学部・研究科	Humanity		
履修期間	9月～12月		
単位数	6 ECTS		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	Valentina Bonifacio		
授業内容	文化人類学の知識、方法論を使った世界の社会活動について学びました。		
試験・課題など	グループプレゼンテーションが受講期間の最後の方にあり、また期末試験として授業で紹介された社会活動の中から1つ選び、教授から指定された質問に沿って4000字以内にまとめるレポートがありました。		
感想を自由記入	毎週、違う社会活動をケーススタディ式で扱い授業が行われました。なので、世界各国で遂行された社会活動について学ぶ事ができました。特にその中でも印象に残っているのが、グアテマラの自然公園のケースです。このケースでは公園内の開拓を進める会社と現地人の間に入りどのように仲裁役として両者の関係を取り持つかというものでした。お互い違う意見を持つ中で、現地人が大切にしている公園を残しつつ、どのように会社側が開拓を行うかが問われます。このように毎週、考えさせられるテーマが浮かび上がるスタディーケースを学ぶのでとても勉強になりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Gender Studies	ジェンダー学
科目設置学部・研究科	Venice International University
履修期間	3月～5月
単位数	6 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Sara De Vido
授業内容	最初の数回の講義ではジェンダー学の定義、また法律的によく使う専門用語を学びました。それから、世界のジェンダーに関わる訴訟の例をケーススタディ形式で学びました。
試験・課題など	教授が基本的に授業で扱うのはヨーロッパの国の訴訟ケースだったのでクラスのダイバーシティを活かしさらに視野を広げることを目的に、毎週自分の国で似たような訴訟のケース、また問題が起きた事があるか、また自分の国ではそのような時、どのような法律が適用されるかなどを調べてくる事が求められました。また、毎週、その調べた結果をクラスと共有しました。 期末テストは自分の国が抱えるジェンダーの問題を取り上げ、5000字以内でレポートを書く事でした。
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Venice in World Literature	世界のヴェネチアに関する文学
科目設置学部・研究科	Venice International University
履修期間	3月～5月
単位数	6 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Michele Longino
授業内容	ヴェネチアの商人、失われた時を求めて、ヴェネチアに死すなど世界的に有名なヴェネチアに纏わる小説を読み、クラス全体でディスカッション形式で作者の考え、また小説の中で描写されるヴェネチアの町と現在、留学生活を通して見るヴェネチアが違うか、似てる点はあるかなどを話し合いながら小説への理解を深めるクラスでした。
試験・課題など	毎週、担当の一人がディスカッションの質問を考え、またディスカッションを進行する必要があり、受講期間の中で一人2回この担当の順番が回ってきます。また、毎週決められたページ分を熟読してくる事が義務付けられていました。期末試験は授業で取り扱った小説、書籍を2冊選び、自由なテーマで5000字以内にまとめるエッセイでした。
感想を自由記入	名だたる文豪達がヴェネチアを舞台にした書籍を残していることはとても不思議ですが、どの作品にもヴェネチアを鮮明に想起させる情景の描写が多くあり、昔から人はヴェネチアの魅力に引き寄せられていたことをこれらの作品を通して改めて感じました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Romantic Love in Japan and Europe	日本とヨーロッパのロマンス
科目設置学部・研究科	Venice International University
履修期間	3月～5月
単位数	6 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Adrian Pinnington
授業内容	日本とヨーロッパでの恋愛、ロマンスのあり方を源氏物語、ロミオとジュリエットを通し比較する授業でした。受講期間の前半は源氏物語を読み、後半はロミオとジュリエットを読みました。
試験・課題など	毎週、決められたページまで読み進めること、また教授からの reading questions に対する答えをまとめておく必要がありました。授業は基本的に自分の答えをクラスと共有しながら、クラスの大きなテーマである日本特有、または西洋特有の恋愛観を上記の作品から読み取り、理解を深めました。
感想を自由記入	私は今まで源氏物語を日本史の授業で習う以外に読んだ事はありませんでした。今回、この授業を通して分かったのは源氏物語では日本の恋愛観として「儚さ」をひとつ大きなテーマとしている事、またこの「儚さ」という概念がシェイクスピアのロミオとジュリエットも含め、海外では一般的に存在しない事が他の学生の発言によりわかりました。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	大学が始まる。 大学の勉強。 夏休み中、CIEE のボランティアプログラムでインドネシアに行く。
8月～9月	大学の勉強。留学に関するイベント、説明会に参加。 留学に関する情報収集。
10月～12月	大学勉強。 出願に必要な書類集め、また書類製作(留学志望書など)。 面接に向けて準備。
2018年 1月～3月	大学勉強。 留学渡航前説明会や就活に関する説明会。
4月～7月	イタリア語の勉強。 留学先の住居探し、手続き。 航空券の手配、購入。
8月～9月	大使館でビザの申請手続き。 留学の荷物準備。 留学先へ旅立つ。 ヴェネチアのド島でヴェネチア映画祭。 9月の一週目に留学生専用のオリエンテーションがあり、その次の週から授業がはじまる。
10月～12月	大学勉強。 12月下旬まで1学期の期末試験。 試験が終わり次第、冬休み。 冬休み旅行開始。(フランス、イギリス、オーストリア、ハンガリー、チェコ、フィレンツェ、ローマ)
2019年 1月～3月	1月下旬、冬休み旅行から帰ってくる。 1月下旬から2月の初めにかけて、1学期残りの期末試験を受ける。 シエナへ一人旅。 3月の一週目から二学期の授業が始まる。 ヴェネチアカーニバル。
4月～7月	5月頃、ゼミ試験。 5月の終わり、期末テスト。 6月に入りすぐ旅行。(スペイン、イギリス、オランダ) 6月25日、日本に帰国。
8月～9月	留学後の書類提出。 ゼミに数回出席、ゼミ旅行。
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	私は入学した時から留学のことを視野に入れていました。留学先を英語圏以外、つまりヨーロッパに絞って考え始めたのは2年生になって留学説明会でヨーロッパの大学も選択の幅が広いと感じたからです。そもそも留学をしようと思った理由は海外の大学に興味があったこと、また明治大学に留学している友達を見て素直に留学している姿が楽しそうだと感じたからです。また、ヨーロッパ留学が英語以外の言語を学ぶ良いキッカケになればいいと思ったからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	私は英語圏の留学先ではなかったので留学が決まってから自分でテキストを購入しイタリア語を勉強しました。私がこの期間の勉強方法で後悔しているのは工夫もせずただテキストだけを使って勉強していたことです。実際に現地に行きモチベーションが上がったことはあるのかもしれませんが、語学学校に通わなくても最近では様々な方法で勉強する術があることを知り、留学前から工夫して勉強方法の幅を広げておけば良かったと感じました。私が留学先で実践し始めたのは、イタリア人ユーチューバーの動画を見ることです。この良いところは自分の気分に合わせて違う人の動画を見る、つまりそれぞれ違う分野(料理、学習、ファッション等)での動画を上げているのでその都度使う単語の違い、話し方の違いなどから語彙や文法を広範囲で学ぶ事ができます。 また、留学前に留学先の情報収集をしていたのは良かった点だと思います。私は同じ留学先で留学していた先輩に色々質問することで情報を集めていました。留学先の大学システムで気になる点や帰国後の単位申請、留学先で契約した電話会社など、留学を先に経験しているからこそアドバイスをもらえる存在だったのでとても心強く、感謝しています。
この留学先を選んだ理由	私は元々、ヨーロッパ圏の国で留学がしたいという思いがありました。その中でイタリアのカフォスカリ大学を選んだ理由の1つにヨーロッパ最大の日本語学部があるという事が挙げられます。私は、一日本人として海外で日本語を学ぶ学生と留学を通じ交流を深める事で彼らから見た客観的な日本に対する思いを知る事ができ、この経験は日本文化を世界に発信することを謳う国際日本学部に戻ってきてからさらに活かすことができると考えました。また毎年、水の都として世界中から多くの観光客で賑わうヴェネチアの町で留学生活を送るという強い憧れがあったのも大きな理由の1つです。
大学・学生の雰囲気	カフォスカリ大学のキャンパスはヴェネチアの町中の至る所にあります。言ってしまうと、ヴェネチアの町全体がキャンパスです。なので、授業ごとに違うキャンパスに移動しなければいけないケースがほとんどです。私は全てのキャンパスで授業があったわけではないのですが、私が授業を受けるために通っていたキャンパスはどこも緑があつたり、水辺のすぐ近くだったりとても雰囲気良かったです。学生はよく勉強して真面目な生徒がほとんどですがフレンドリーで優しい人ばかりです。
寮の雰囲気	私はアパートに住んでいました。私が住んでいたアパートは同じ間取りの部屋が二つあり、片方に私のルームメイトの女の子と男の子2人、もう一つの部屋に女の子4人、男の子1人が住んでいました。フラットメイトが8人もいたので毎日とても賑やかでした。よくみんなで料理を作ってパーティーをしたり、映画を一緒に観たりしました。
交友関係	講義形式の授業では中々話す機会もなく友達を作るのは難しいですが、私はプレゼンテーションのグループ分けで仲良くなったり、日本語クラスのアシスタントで日本語を学ぶ学生と仲良くなりました。週末食事に行ったり、ショッピングに行ったり、映画を観に行ったこともありました。平日の夜はよくフラットメイトと一緒に近くの広場に飲みに行きました。
困ったこと、大変だったこと	留学生活が始まって間もなくの頃、クレジットカードがATMで使えなくなった事がありましたが、もう一枚のプリペイドカードが使えたのでお金をおろすことは出来ました。海外のATMは他の国のクレジットカードと機械の接触が悪い事があるようなのでカードは2枚ほど持っておくと安心だと思います。

学習内容・勉強について	前期に受けていた授業よりも後期に受けた授業の方が生徒の発言の場も多く参加型の授業でした。まだ完全にクラスの前で発言することを克服した訳ではありませんが、自分の意見をクラスと共有する事が如何に大切なことかという事を改めて感じ、前よりも当てられたからではなく自ら発言するようになったと思います。また、前期に修士のクラスを1つ受講していました。グループプレゼンの発表内容に読まなければならない資料がとても難し買ったのですが教授が資料の数を減らしてくれたり、グループのメンバーで協力しながらパワーポイントのスライドを完成させました。
課題・試験について	毎週、次の授業までに英語の資料を読む事、また調べ物をする事が多かったです。資料を読む時は要点を抑えるようにマーカーを使いながら読み工夫していました。また、イタリア語の授業では毎回教科書から宿題が出されました。課題は、ショートエッセイを書くクラスが後期のクラスにありました。期末試験は記述テストもありましたがレポートが多く、指定された文字数も今まで書いてきたレポートの2倍以上でとても苦労しました。提出期限が迫ると毎日徹夜しながらレポートに取り組んでいました。私は書く事が元々好きではなく書き始めるまで考えを頭の中で文章にまとめるまでに時間がかかりました。なので留学前に書くことにもう少し慣れていたらあそこまで苦労することはなかった気がします。しかし、これらのレポートを書いたことで書くことへの苦手意識がなくなりました。
大学外の活動について	留学生団体に所属イベントに参加していました。
留学を志す人へ	私も当初は、留学はしたいという気持ちとは裏腹にどこか不安な気持ちがありました。しかし、留学説明会に行った時、「留学は大学生の今しか出来ない」という言葉に背中を押され、留学をする決意が固まりました。留学をするか決めるには、誰でも強い覚悟が必要だと思います。実際に、私のように行きたい気持ちは強くあっても一歩を踏み切れずにいる人も多くいるはずですが、しかし、留学が自分を成長させ、これからの人生の大きな糧となることは間違いありません。人生においてかけがいのない貴重な経験を掴むチャンスを目の前に、自分と正直に向き合って将来の自分が後悔しないような選択をして下さい。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	8～起床	9～起床	9～起床	9～起床	9～起床	9～起床	9～起床
	9～授業	12～授業 学校でお昼	10～授業	11～授業 昼食	10～授業	自由時間	自由時間
午後	家で昼食	自由時間	家で昼食	図書館で 勉強	家で昼食	イベント参加	勉強
	勉強 自由時間	5～日本語 クラスアシ スト	勉強	図書館で勉 強	自由時間 勉強	イベント参加	自由時間
夕刻	6～イタリア 語授業	勉強	自由時間	自由時間	6～イタリア 語授業		パーティー 準備
夜	夕食 お風呂 12～就寝	夕食 (映画観賞 会) お風呂 12 ～就寝	夕食 11～広場で 飲み 1～就寝	夕食 お風呂 12～就寝	夕食 お風呂 11～広場で 飲み 2～就寝	夕食 お風呂 2～就寝	パーティー (夕食) お風呂 1～就寝